

平成 22 年度  
事業 報告 書

自 平成 22 年 4 月 1 日

至 平成 23 年 3 月 31 日

財団法人 日本サイクリング協会

## 実施事業の概要

今日、サイクリングは国民のスポーツ志向、健康志向及び地球温暖化に伴う環境保全についての意識の変化により、人と環境に優しい自転車利用の関心の高まりを受けて、大きなブームを迎えています。日常生活でも自転車利用者が増加の傾向にあり、全国各地で自転車に優しい街づくりが進められるようになった。

ある団体の調査によると20才以上のサイクリング人口は推定で258万人に達するという心強いデータがあり、更に別の団体の50歳以上80歳までのスポーツ行動の調査では、今後始めてみたいスポーツ行動の第1位にランクされ、男女ともそれぞれ200万人以上の潜在需要が見込まれているという歓迎すべきデータもある。

本協会は全国の都道府県サイクリング協会の皆様の協力のもと『快適なサイクリングを通じて、健康を増進し、自然との共生を図り地球環境を守っていくこと及び自転車に関連する交通事故の防止に努めること』をコンセプトとして、サイクリスト及び自転車愛好者とともに積極的に活動をした。

平成22年度は、このような状況を背景に本協会が目指すサイクリングの健全な普及発達を促進するため、各関係機関のご協力を頂きながら、(財)JK Aからの補助金と(社)自転車協会の業界資金からの助成金を得て、以下の事業を実施した。

なお、財団運営の基本事項を策定するため、理事会を2回及び評議員会を3回開催した。

### ◎公益事業振興補助事業関係

#### 1. 指導者の育成等事業

現在の自転車ブームの中にあって、自転車を取り巻く社会のニーズに応え、サイクリングの普及を实践する質の高い指導者を養成するため、インストラクター養成講習会を各都道府県サイクリング協会と連携し、3道県協会・3会場で開催し、80名の指導者を養成した。(指導者数1,316名)

#### 2. サイクリング大会等の開催事業

サイクリング愛好者の拡大を図るため、各都道府県サイクリング協会と連携し、全国サイクリング大会(参加者860名)、ブロック大会(同1,140名)、県サイクリング及びサイクルスポーツ大会(同7,767名)を実施し、参加者にその楽しさを実感して貰うとともに、全国の一般市民にサイクリングへの関心を高めた他、マスコミに対してもサイクリングへの注目を高めることができ、更に開催周辺の人々との交流を通じてサイクリングの普及啓発に努めた。

#### 3. 特別普及奨励事業

地方自治体等と連携し、蔵王ヒルクライム大会(参加者975名)、シティサイクリング大会(同2,751名)、親子ふれあいサイクリング大会(同約110名)、自然共生サイクリング(同約127名)Mt. Fujiエコサイクリング(同1,675名)を開催し、地域に根ざしたサイクリングの普及を図るとともに、広域に亘るサイクリング愛好者の参加を得る等、地域活性化にも貢献した。

#### 4. 自転車公園開場事業

神宮外苑の周回コースを毎日曜・休日（年間56回）に自動車の交通規制を実施して、自転車を無料で貸出し、サイクリングを楽しんで貰うとともに、児童・幼児等を対象に、乗り方教室を開催し、サイクリングの普及啓発に努めた。（延べ利用者数69,583名）

### ◎機械工業振興補助事業関係

#### 1. 自転車乗用に関する調査研究事業

地域サイクリングの振興による自転車乗用機会拡大のため、地方公共団体又は民間団体が中心となって自転車と観光資源を関連させ、それらを有効に生かそうとして実施された地域に関し、調査研究委員会においてサイクリングを取り込んだ場所を選出し、その成功例等を調査し、調査研究委員会で集計・分析し、地域サイクリングの振興に対して、有効な方策を報告書に取り纏め提言した。

#### 2. 自転車に関する広報事業

自転車乗用人口の拡大を図るとともに、国内自転車産業の活性化を図るため、情報誌「サイクリングジャパン」を発行し、サイクリングに関する様々の情報や各種大会の案内・紹介及び国内自転車メーカー、部品メーカー等の自転車に関する情報を提供した。

また、インターネットによる広報活動を行い、本協会の事業の普及を図るとともに、賛助会員の拡大に努めた。

#### 3. スポーツ用自転車に関する耐久調査事業

茨城県下妻市の筑波サーキットにおいて、10時間耐久サイクリング大会を開催（参加者183チーム・885名）し、大会参加者が使用するロードレーサー、MTB等、比較的高額な自転車、ヘルメット等の用品の使用状況のアンケート調査を行い、その結果を報告書にとりまとめ、自転車の生産、流通に係わる諸団体に配布・報告した。

#### 4. タンデム用自転車の普及に関する調査研究事業

本事業は昨年、タンデム自転車の普及を図るため、委員会において普及のための方法・手法を討議し、パイロット養成のためのカリキュラム・テキストを作成しパイロット講習会を行ったが、本年度はタンデム用自転車の普及について今後の継続的展開のためのシステム作りに主眼をおいて活動した。

これまでの実績を活かした講習会を継続的に実施し、タンデム体験者を増やすことが普及につながり、また、より効果的な普及をするために適切なタンデム指導者の育成が必要となるため、カリキュラムを設定し、認定のための検定基準を作成した。

また、タンデム自転車の実態について、地域毎の取り組みを整理するため、全国の警察本部にタンデム自転車の取扱について調査を実施し、これらを分析して報告書に取りまとめ関係各方面に配布した。

## 5. 自転車活用による環境改善方策の調査研究事業

低炭素社会の実現に向け、自動車から自転車への移行の流れをつくる手立てとして、サイクリング環境改善のため、自転車通勤の実態を中心にその現状を調査分析し、普及策を報告書に取り纏め、関係機関に報告した。

## ◎自主事業

### 1. ブロック別連絡会議の開催事業

全国7ブロックに所属する各都道府県サイクリング協会の代表者と各種情報交換や事業運営等について会議を開催した。

### 2. 無料法律相談の開設

本協会に顧問弁護士を置き、賛助会員のサイクリングの諸活動、日常生活において生じるトラブルの法律的事案に関し、無料の相談室を開設した。

### 3. 指導者登録証作成交付事業

本協会が認定したサイクリングインストラクターの新規登録者及び登録更新者並びにサイクリングディレクター（1級・2級）の登録更新者に係る登録・更新を行うとともに、それらの者に対して登録証を発行した。

### 4. サイクリングツアー啓発のための基盤整備事業

地域観光にサイクリングを取り入れ、初心者から上級者までが、安全に安心して参加できるサイクリングツアーを旅行会社が企画できるよう、情報提供、自転車メンテナンス、走行管理、レスキュー体制、保険制度の充実等、スムーズな運営に向けた基盤を整備した。

### 5. サイクリング普及推進事業

地方自治体を中心とし、地域振興の一方策としてサイクリングやサイクルスポーツ大会に対する関心が高まる中、計画事案には積極的に助言、指導を行った他、実施大会の参加者募集及び設営、受付等の開催執務に協力した。

### 6. 交通安全推進事業（サイクリングスクールの開催）

サイクリングスクールの開催を通じて、サイクリングの安全な楽しみ方、自転車の乗り方、自転車の交通安全、自転車利用と健康及び環境等について、普及啓発するにあたり、サイクリングスクールの開催についての必要な事項やカリキュラムを定め、神宮外苑においてサイクリング初心者を対象にサイクリングセミナーを実施した。

## ◎協力事業

### 1. 運営強化協力事業

#### (1) サイクリングターミナル関係事業

全国のサイクリングターミナルとの連携を保つため、全国サイクリングターミナル協議会を組織して本協会に事務局を置き、共同PRを推進するとともに、各ターミナルが抱えている問題や運営状況の情報交換を行った。

#### (2) 全日本マウンテンサイクリング in 乗鞍大会 他

各大会の運営において、毎年行われる企画立案に対し本協会として、財政面及び開催に対する技術面についての助言を行い、各実行委員会に人材を派遣し運営全般に関わる指導を行った。

## ◎その他の事業

自転車に関係する交通事故の増加に対応するため警察や交通安全協会と協力連携し自転車交通安全教室の開催や、公益法人制度改革に伴い、新法人への移行に向けて多方面からの情報収集等を行った。

また、近年の健康志向、環境保全の意識等の高まりを受けて、自転車利用者が急速に増加し、自転車を単なる都市交通の移動手段として利用するのみならず、ロードレーサーを使用して本格的にサイクリングに移行するケースが増えてきている。

本協会は、このような状況を捉え、より多くの方々にサイクリングに興味を持っていただくだけでなく、サイクリングについての正しい知識を持って、安全で快適なサイクリングが楽しめるよう賛助会員入会拡大のための広報宣伝活動を実施した。

## 事業の実施内容

### ◎公益事業振興補助事業

#### 1. 指導者の育成等事業

##### (1) 指導者養成講習会の開催

新たにインストラクター資格を希望する者に指導者養成講習会を次のとおり開催実施した。

(実施地区 3道県協会 3回 延べ参加者数 80名)

協会名	実施日	実施場所	参加人員
北海道	平成23年 3月19日～20日	札幌市	27名
東京都	平成22年 8月7日～8日	調布市	33名
愛知県	平成23年 3月5日～6日	津島市	20名

##### (2) 教材等作成・整備

サイクリングの普及啓発を図るための教材を整備増刷した。

- ・指導用テキスト教材「サイクリングインストラクター・ディレクター養成講習会用サイクリング専門科目テキスト」

#### 2. サイクリング大会の開催事業

##### (1) 全国サイクリング大会の開催

サイクリングに対する関心を全国的に高めるとともに、サイクリング人口の拡大を図るため、全国サイクリング大会を次のとおり実施した。

- ・開催日 平成22年10月 2日～3日
- ・開催場所 奈良県奈良市周辺
- ・参加者数 860名

##### (2) ブロックサイクリング大会の開催

サイクリング愛好者の拡大と指導者の実践教育、情報交換の場としてブロックサイクリング大会を実施した。

ブロック名	協会名	実施日	実施場所	参加人員
北海道	北海道	7月30～8月1日	名寄市	263名
東北	岩手	9月4～5日	遠野市	270名
関東甲信越	新潟	9月25～26日	南魚沼市	189名
中部・日本	岐阜	11月13～14日	岐阜市	70名
中国・四国	岡山	9月25～26日	真庭市	198名
九州	長崎	10月16～17日	諫早市	150名
合計				1,140名

(3) 県サイクリング及びスポーツ大会の開催

サイクリング愛好者を対象として、各都道府県協会において、サイクリング及びサイクルスポーツ大会を実施した。

協会名	実施日	実施場所	参加人員
北海道	平成22年 6月20日	深川市	111名
〃	8月29日	帯広市	119名
〃	9月 5日	虻田郡	229名
〃	9月12日	本別町	110名
〃	8月22日	網走市	120名
〃	9月26日	北見市	100名
〃	10月10日	釧路市	89名
〃	10月10日	紋別市	114名
秋田	7月 4日	大潟村	177名
岩手	7月11日	盛岡市	89名
福島	9月26日	伊達市	123名
群馬	10月24日	前橋市	127名
埼玉	5月23日	吉見町	197名
東京	5月 4日	江東区	464名
千葉	7月18日	銚子市	223名
〃	11月27～28日	君津市	96名
〃	平成23年 3月 6日	館山市	260名
神奈川	10月31日	横須賀市	58名
〃	平成23年 1月 9日	川崎市	89名
新潟	6月12日～13日	南魚沼市	56名
静岡	5月30日	静岡市	131名
〃	10月17日	浜松市	420名
福井	7月25日	福井市	249名
三重	8月 8日	桑名市	98名
京都	9月 5日	亀岡町	109名
〃	9月23日	綾部市	401名
大阪	4月 1日～10月 3日	近畿圏	76名
〃	5月30日	大阪府	54名
〃	平成23年 1月 9日	奈良市	71名
奈良	5月16日	奈良市	202名
和歌山	8月22～26日	御坊市	300名
〃	4月18日	和歌山市	109名
岡山	5月30日	真庭市	109名
〃	10月10日	岡山市	113名

島根	10月30日	益田市	130名
山口	10月11日	山口市	65名
香川	11月6～7日	小豆島町	331名
愛媛	9月19日	伊予市	162名
徳島	10月17日	徳島市	620名
福岡	9月5日	志賀島	270名
福岡	10月3日	久留米市	307名
佐賀	9月26日	佐賀市	130名
宮崎	11月21日	宮崎市	187名
〃	平成23年1月9日	宮崎市	32名
ESCA	8月9日～12日	勝浦市	70名
〃	9月3日～5日	茅野市	70名
合 計			7,767名

### 3. 特別普及奨励事業

#### (1) 蔵王ヒルクライム大会の開催

- ・開催日 平成22年 5月15～16日
- ・開催場所 宮城県蔵王町
- ・参加者数 975名

#### (2) シティサイクリング大会の開催

- ・開催日 平成22年 9月19日
- ・開催場所 東京都新宿区(都庁)～港区お台場～新宿区(神宮外苑)
- ・参加者数 2,751名

#### (3) 自然共生サイクリング大会の開催

- ・開催日 平成22年10月 9～10日
- ・開催場所 長野県飯山市斑尾高原
- ・参加者数 127名

#### (4) 親子ふれあいサイクリング大会の開催

- ・開催日 平成22年11月16日
- ・開催場所 千葉県松戸市
- ・参加者数 110名

#### (5) Mt. Fujiエコサイクリング大会の開催

- ・開催日 平成22年 9月 4～5日
- ・開催場所 静岡県、山梨県富士山麓周辺
- ・参加者数 1,675名

#### 4. 自転車公園開場事業

サイクリングの普及啓発を図るため、神宮外苑周回の一般公道を交通規制し、下記のとおり自転車公園の開場を実施するとともに、交通安全イベントを開催した。

○自転車公園の開場（神宮外苑サイクリングセンター）

開催月	開場日数	利用者数	内 訳		
			貸出車	持込車	自転車乗り方教室
					参加者数
平成22年4月	5	9,375	6,837	2,538	450
5月	7	12,345	8,844	3,501	625
6月	4	5,484	3,517	1,967	294
7月	5	4,372	2,805	1,567	386
8月	5	3,049	1,794	1,255	287
9月	5	8,665	3,910	4,755	256
10月	5	6,052	4,340	1,712	378
11月	6	8,081	6,237	1,844	421
12月	5	4,290	2,969	1,321	347
平成23年1月	4	3,153	2,181	972	307
2月	3	3,135	2,332	803	242
3月	2	1,582	1,109	473	134
合 計	56	69,583	46,875	22,708	4,127

## ◎機械工業振興補助事業

### 1. 自転車乗用に関する調査研究事業

自転車乗用機会の拡大を目的とし、平成22年度は、平成17年度から6年間にわたり継続・発展的に行ってきた調査研究事業の成果を踏まえ、多様なメリットを有する自転車を観光資源として活かす試みについて調査した。

「観光資源の魅力化におけるサイクリング活用方策」として整理し、自転車を積極的に観光の魅力化や地域ブランディングを行っている地域や自治体の事例を調査し、それぞれをテーマパーク型、テーマコース型、ロングライド型に分類し更に都市、郊外。景勝地みに分類し、5つの視点（アクセシビリティ・ユーザビリティ・アメニティ・エンタテイメント・ホスピタリティ）から評価を行い、調査研究成果を報告書として取りまとめ、自治体やサイクリング各種関係団体に報告した。

### 2. 自転車に関する広報事業

自転車乗用人口の拡大促進及び国内自転車産業の活性化を図るため、サイクリング大会の案内や紹介・国内自転車や部品等の最新の製品情報を紹介するとともに、自転車に関する内外の最新情報を広く収集し、その情報を広く一般に提供するため、情報誌を次のとおり作成し、会員、関係団体等に送付した。

サイクリングジャパン 2010 夏号No. 462号発行	20,000部
〃 2010 秋号No. 463号発行	20,000部
〃 2010 冬号No. 464号発行	20,000部
〃 2011 春号No. 465号発行	20,000部

### 3. スポーツ用自転車に関する耐久調査事業

茨城県下妻市の筑波サーキットにおいて、調査研究を実施するため大会「2010全日本10時間耐久サイクリング in つくば」を開催し、183チーム・885名の参加者が日常的に接しているスポーツ用自転車に対する意識についてアンケート調査を行い、集計結果を報告書にとりまとめ、自転車の生産・流通に係わる諸団体に報告した。

- ・ 開催日 平成22年 8月 8日（日）
- ・ 開催場所 茨城県下妻市 筑波サーキット「コース2000」
- ・ 参加者数 183チーム・885名

### 4. タンデム用自転車の普及に関する調査研究事業

タンデム自転車の普及を図るため、昨年度はパイロット養成のためのカリキュラム・テキストを作成しパイロット講習会を開催したが、本年度は今後の継続的な事業展開のためのシステム作りと効果的な普及につなげるためにタンデムパイロットの認定のための検定基準を作成した。

また、タンデム車の公道走行解禁のために全国の警察本部にタンデム自転車の取扱いについて調査を実施してこれらを報告書に取りまとめ関係各方面に配布した。

- ・ タンデム用自転車パイロット講習会  
第1回 奈良サイクルフェスティバル

- 平成22年 4月11日(日)
- 第2回 わかやま自転車祭り～紀ノ川河川敷を走ろう  
平成22年 5月29日(土)
- 第3回 今治市タンデム自転車安全指導者講習会  
平成22年 9月11日(土)
- ・タンデム自転車アピールのための「サイクリング大会」の開催
- 第1回 わかやま自転車祭り～紀ノ川河川敷を走ろう  
平成22年 5月30日(日)
- 第2回 第11回来島海峡大橋サイクリング大会併催  
平成22年11月 7日(日)

#### 5. 自転車活用による環境改善方策の調査研究事業

自転車通勤を積極的に導入している企業及び団体の協力を得て、自転車通勤の導入の経緯、会社としての取り組みの概要を調査すると共に、自転車通勤推進に実績を誇る名古屋市役所において、通勤手当支給の改正内容と通勤に用いる交通手段の推移に関する資料を提出いただいた。

本年度は自転車通勤者が交通環境、出社するその目的地への移動環境他道路交通環境をどのように感じているか、また、環境が整ったら自転車通勤やサイクリング頻度が上がるか、について調査を行い、分析結果を行政等関係各機関に配布した。

- ・自転車活用による環境改善方策の調査研究意識調査アンケート実施

期 間：平成22年12月26日(日)～平成23年 1月 7日(水)

有効回答：903名

## ◎自主事業

### 1. ブロック別連絡会議の開催事業

全国7ブロックに所属する各都道府県サイクリング協会の代表者と各種情報交換や事業運営等について会議を次のとおり開催した。

- ・北海道ブロック 平成23年 1月29日(土)～30日(日)(札幌市)
- ・東北ブロック // 1月27日(木)～28日(金)(盛岡市)
- ・関東甲信越ブロック // 2月26日(土)～27日(日)(港区)
- ・中部日本ブロック // 2月17日(木)(名古屋市)
- ・近畿ブロック // 2月13日(日)～14日(月)(大阪市)
- ・中国・四国ブロック // 2月18日(金)～19日(土)(出雲市)
- ・九州ブロック // 2月5日(土)～6日(日)(福岡市)

### 2. 無料法律相談の開設

本協会に顧問弁護士を置き、賛助会員のサイクリングの諸活動、日常生活において生じるトラブルの法律的事案に関し、無料の相談室を開設した。

### 3. 指導者登録証作成交付事業

本協会が認定したサイクリングインストラクターの新規登録者及び登録更新者並びにサイクリングディレクター(1級・2級)の登録更新者に係る登録・更新を行うとともに、それらの者に対して登録証を発行した。

### 4. サイクリングツアー啓発のための基盤整備事業

各旅行会社等で行われているツアーに積極的に自転車を取り入れ、ツアー参加者に手軽で安全にサイクリングを楽しんでいただく基盤整備のため、サイクリングツアーの支援のため関係機関と協議を行った。

### 5. サイクリング普及推進事業

地方自治体を中心とし、地域振興の一方策としてサイクリングやサイクルスポーツ大会に対する関心が高まる中、計画事案には積極的に助言、指導を行った他、実施大会の参加者募集及び設営、受付等の開催執務に協力した。

### 6. 交通安全推進事業(サイクリングスクールの実施)

サイクリングスクールの開催を通じて、サイクリングの安全な楽しみ方、自転車の乗り方、自転車の交通安全、自転車利用と健康及び環境等について、普及啓発するにあたり、サイクリングスクールの開催についての必要な事項やカリキュラムを定め、神宮外苑においてサイクリング初心者を対象にサイクリングセミナーを実施した。

- ・平成22年 7月2日(日)
- ・国立競技場、神宮外苑サイクリングコース及び周辺道路
- ・参加者数 13名

## ◎その他の事業

### 1. 運営強化協力事業 他

#### (1) サイクリングターミナル関係事業

サイクリングターミナルの共通する諸問題及び更なる利用促進を図るため、東京都港区赤坂の日本自転車会館において総会を開催し、今後におけるサイクリングターミナルの諸事業を協議すると共に情報交換を行った。

・平成22年 7月 1日 (木)

25ヵ所のサイクリングターミナルの共同PRを推進し、利用促進を図った。

#### (2) 全日本マウンテンサイクリング in 乗鞍大会 他

各大会の運営において、毎年行われる企画立案に対し本協会として、財政面及び開催に対する技術面についての助言を行い、各実行委員会に人材を派遣し運営全般に関わる指導を行った。

・開催協力 第25回全日本マウンテンサイクリング in 乗鞍大会  
平成22年 8月28日 (土)～29日 (日)  
参加者数 4,042名

### 2. 交通安全協力事業

近年、自転車乗用に係る事故の増加傾向を背景に、警察や交通安全協会等が開催する自転車安全乗用教室等の講師を派遣し3ヵ所の教室開催に協力した。

・平成22年10月 6日 (水) 東京都港区 港区立神応小学校

・平成22年10月31日 (日) 東京都新宿区 青山祭り

・平成22年11月 5日 (月) 東京都千代田区 警視庁中庭 交通執行課

### 3. 公益法人改革における移行準備事業

公益法人制度改革に伴い、「公益法人改革におけるJCA組織検討委員会」における答申書を受け、新法人への移行に向けて多方面からの情報収集等を行った。

### 4. 賛助会員拡大のための広報宣伝活動事業

近年の健康志向、環境保全の意識等の高まりを受けて、自転車利用者が急速に増加し、自転車を単なる都市交通の移動手段として利用するのみならず、ロードレーサーを使用して本格的にサイクリングに移行するケースが増えてきている。

本協会は、このような状況を捉え、より多くの方々にサイクリングに興味を持っていただくだけでなく、サイクリングについての正しい知識を持って、安全で快適なサイクリングが楽しめるよう入会キャンペーン活動を実施した。

## 【会 議】

### 1. 理事会

#### \*第132回理事会

日 時 平成22年 6月22日 (火) 午後1時30分～午後2時40分  
場 所 日本自転車会館 2号館8階会議室  
議 案 第1号議案 評議員の選出 (案) について  
第2号議案 平成21年度事業報告 (案) について  
第3号議案 平成21年度収支決算 (案) について  
第4号議案 (財) JKA補助事業の実施について  
第5号議案 理事の報酬について  
第6号議案 規程の一部改正 (案) について

#### \*第133回理事会

日 時 平成23年 3月28日 (水) 午後3時～午後5時30分  
場 所 日本自転車会館 2号館8階会議室  
議 案 第1号議案 副会長・専務理事の互選について  
第2号議案 常勤役員の報酬 (案) について  
第3号議案 評議員の選出 (案) について  
第4号議案 規程の一部改正 (案) について  
第5号議案 平成22年収支予算の一部変更 (案) について  
第6号議案 平成23年度事業計画 (案) について  
第7号議案 平成23年度収支予算 (案) について

### 2. 評議員会

#### \*第80回評議員会

日 時 平成22年 6月21日 (月) 午後1時30分～午後2時30分  
場 所 日本自転車会館 2号館8階会議室  
議 案 第1号議案 理事の選出 (案) について  
議 題 第1号議題 平成21年度事業報告 (案) について  
第2号議題 平成21年度収支決算 (案) について

#### \*第81回評議員会

日 時 平成22年11月 4日 (木) 午後1時～午後1時30分  
場 所 日本自転車会館 3号館4階会議室  
議 案 第1号議案 監事の選出 (案) について

#### \*第82回評議員会

日 時 平成23年 3月25日 (金) 午後1時30分～午後3時  
場 所 日本自転車会館 3号館4階会議室  
議 案 第1号議案 理事の選出 (案) について  
議 題 第1号議題 規程の一部改正 (案) について  
第2号議題 平成22年度収支予算の一部変更 (案) について  
第3号議題 平成23年度事業計画 (案) について  
第4号議題 平成23年度収支予算 (案) について